



7月虹だより

令和元年 虹のこころ保育園



お忙しいところ6月の懇談会に出席していただき、ありがとうございました。

虹のこころ保育園も開園から一年が過ぎ、お子さん第一に考えながら、皆さんに平等な保育を提供するにはどうしたらよいかを出来るところから職員一同で話をしてまいりました。

0歳からお預かりする施設です。何がこの時期に大切なのかを考えながら、ひとつずつですが整備をしていきたいと思ひます。入園時にお伝えできていなかったことに関しましては、改正の時期を前もって保護者の方にお知らせしていくようにしてまいります。

これからも保護者の方が就労のため保育に当たれない時間を保護者の方に代わって質の良い保育が提供できるように職員全員、全力投球してまいります。

さて、今年も学校関係が夏休みの季節になりました。お出かけされるご家庭もあると思ひます。事故、怪我のないよう気を付けて過ごしていただきたいと思ひます。

7月の予定

- 4日 七夕子ども祭り
- 10日 衛生消耗費、教育充実費集金
- 24日 時間外保育料集金
誕生会
- 26日 避難訓練



乳幼児の斜視 視力発達に影響

片方の目が外側を向いてしまい、両目の視線が合致しない斜視。乳幼児期に起こると片方の目しか使わなくなり、視力の発達が損なわれる恐れがある。がんなどの重い病気が原因の場合もあり、早期の発見と治療が欠かせない。最近、乳幼児がスマートフォンなどのIT機器を見るようになり、専門医らが斜視との関連に注目している。

専門医、スマホとの関連危惧

最近注目されているのは、スマホなどIT機器と斜視の関連性だ。専門医の間では、子どもの斜視の一因ではないかと危惧する声が上がっている。仁科幸子・成育医療研究センター眼科医長は「目の機能が発育途上の子どもは、狭い画面を近くで長時間、見続けると、正常な発達が損なわれる懸念がある」と話す。

日本弱視斜視学会理事長の佐藤美保・浜松医科大付属病院教授によると、両目で見る能力は不安定で、両目視ができない期間があると、遠近感を正確に捉えられなくなる恐れがある。治療を始めるのは早いほどいい」と指摘する。

2019年4月10日朝日新聞より



お知らせ

- ・7月よりすみれ組の内藤早苗保育士が産休に入ります。内藤に代わってちゅうりっぷ組の田中優美保育士がすみれ組の担任になります。よろしくお願ひいたします。
- ・6月よりシフトで就労されている保護者の方にはシフトの提出のご協力を願ひしています。こちらは、お子さんの体調不良や怪我をされた時に速やかに連絡がつながることを目的としています。
- ・玄関のセキュリティーに関して心配とご意見がありました。虹のこころ保育園ではカード(カードは紛失する場合があります)などによるものではなく、チャイムと同時にリモコンの映像で確認をし、扉を開けていますのでご安心ください。また、映像が映りやすいようにインターホンの前でおまちいただけるように願ひします。